

ROTARY INTERNATIONAL

大洗

OARAI ROTARY CLUB

ジェニファー・ジョーンズ RI会長テーマ
「イマジン ローター」

2820地区スローガン

「enjoy life」～人生を楽しむ～

大野治夫ガバナー



2022～2023年度 会長 田山 勝造 幹事 土子 吉久

前々回の例会報告

第2326回例会 8月25日(木)

於・小林楼 PM 6:00～

- 点鐘 (国歌斉唱 ローターソング
四つのテストは省略)
 - お客様紹介 小沼 SAA
第2分区ガバナー補佐 横須賀忠行 様
セクレタリー 御厩(おうまや)清忠様
 - 幹事報告 土子幹事
 - 会長の時間 田山会長
- 急の事ですが本日はコロナ対策のため弁当の食事だけとします。次回からはリモート例会とし、コロナ禍の治まることを願うばかりです。
- ニコニコボックス 田山会長
第2分区ガバナー補佐横須賀様
よろしく申し上げます
田山会長 ゴルフコンペで優勝しました
飛田会員 第2分区 G 補佐歓迎
 - クラブ協議会 “ガバナー公式訪問 2週間前”
第2分区ガバナー補佐 横須賀忠行 様



【地区スローガン】

enjoy life ～人生を楽しむ～

【地区目標】

一人一人が想像力を持って奉仕する

【具体的行動目標】

1 クラブサポートと地区運営強化

- ・会員増強・維持(地区会員 2000名の回復・クラブ純増2名・女性会員の拡大)、新クラブ設立
- ・地区目標、行動計画の更新
- ・リモートシステムによる会議開催

2 質の高い奉仕活動の推進

- ・クラブセントラルを活用しロータリー賞達成を支援
- ・ロータリーを学び互いに成長する機会の提供
- ・持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する奉仕活動の推進
- ・友好地区との協働による人材発掘の推進
- ・青少年への支援を推進(IAC・RAC・RYLA・EX)

3 公共イメージの向上

- ・地区ホームページ・茨城新聞ロータリー情報館・SNS・他メディアへの発信
- ・第2820地区ロータリーカーによる全地域クラブ訪問
- ・奉仕活動の学術的発信(国連・学会・新聞・雑誌)

4 ローター財団の活用と支援

- ・地区補助金を活用した地域社会への貢献
- ・グローバル補助金を活用した国際社会への貢献
- ・奨学生の支援
- ・ポリオ根絶、コロナ終息活動の推進
- ・公平性の高い財団寄付の推進(年次寄付150ドル・ポリオ30ドルの達成)
- ・ベネファクター 各クラブ1名、PHF・PHS地区70名、MD・AKSの推進
- ・ロータリーカードの推進

5 米山記念奨学会の支援

- ・米山記念奨学会委託事業を通じた第2820地区内で学ぶ留学生の支援

- ・米山寄付の推進、一人 25,000 円以上(普通寄付 5,000 円+特別寄付 20,000 円)

6 環境保全の推進

- ・地球環境問題の理解を深める機会の提供
- ・クラブ環境保全活動を支援

7 国際大会に参加しよう

2023 年 5 月 27 日～31 日にオーストラリア・メルボルンで開催されます。カンガルー、コアラが待っているぞ!!

前回の例会報告

第 2327 回例会 9 月 1 日 (木)

於・オンライン PM 0:30～

○ (点鐘 国歌斉唱 ロータリーソング

四つのテストは省略)

○ 幹事報告

土子幹事

○ 会長の時間

田山会長

○ 卓話

小沼洋道会員

「自主性」とは、やるべきことをいかに人に言われる前にやるかと考え、行動する態度のことです。

なので、「自主性のある子」とは、学校が休校中でも、自分の将来のために、やるべきときは自分からやる子。

例えば、親が何も言わなくても自分から進んで勉強する子!

そんな自主性のある子に育てたら、子育てがめっちゃ楽になると思いませんか?

「自主性」と似ている言葉として「主体性」があります。

「主体性」とは、どんな状況においても「自分の意志」や「判断」で責任を持って行動する態度や性質のこと。なので、「主体性のある子」とは、コロナ不安の今、どうすればいいかを自分で考えて責任をもって行動する子といった感じですよ。

日本人は「皆さんそうしてますよ」で行動を起こす人が多いと言われておりますので、この「主体性」を持っている人は貴重な人材です。

「自主性」と「主体性」の違いは、「自分の頭で考えるかどうか」があるかないか。

このような、教育理念を持って昨今の教育現場はあるそうです。

ただ、このようなことは年齢を重ねた大人等はずっともだと思いますが、教育を受ける子供の方にはこれを理解するに入るような子供は、はたしてどれくらいいるのでしょうか?

自主性を押しつけすぎて、自主性・主体性とわがままをはき違えている子達も少なくないです。

保護者として、若い世代にそれなりの教養や愛情を与えることはとても大切なことだと、僕も思います。

ただ、過度なものは逆に子供たちを傷つけることになっているのではないのでしょうか。

われわれ大人にも楽しみや付き合いを持つ時間があるように子供達にも子供達のコミュニティーがあります。ある程度のゆとりも与えなければいけないのではない

のでしょうか。

ただ、それらに偏りすぎないようにしたり、他人に迷惑をかけたりしないように見守るのが周りの大人の務めだと思います。

偏見や先入観にとらわれたりせず、広く世の中を見る力を徐々に養うことが人間一番大切なことではないでしょうか。

その中では多少自分に困難なことも起こるでしょう、そんなときその場を放棄するだけではなく、それを解決し乗り越えるような力をその中で身につけていく方がいいのではないのでしょうか。

そんな中で自分の希望をもっていれば、尚良いと思います

進路が選べない学生があまりにも多すぎます

そして、成人した時に広い見識眼を持っていたら以後の社会生活はより豊かになり、地域の交流にももっと前向きになっていくのではないのでしょうか?

若年層のほとんどは、コミュニティーが狭く、付き合いもかなり狭くなってきているように思われます。遠い先の会員増強の為に、もっと根深いところからの教育が大切なのではないのでしょうか。

昔の方が良かったとは言いませんが、踏襲すべきところはしていくべきではないかと思えます。

会員増強も我々の世代と、これからの世代とでは方策も変わっていくのではないかと思えます。そんな中でも、地域のためにと少しでも思うところがある方が永く在籍してくれるような気が致します。

なので、地域社会やクラブの発展のためにも人生の諸先輩方からの若年層への教育がより必要になっていくと思えます



ハギ



9 月は
基本的教育と識字率向上月間
及びロータリーの友月間です

欠席の連絡は 小沼 会場監督 (SAA) まで
TEL・FAX 029-267-2761

E-mail
kyusyoku4097@outlook.jp

次回例会

第 2329 回例会 9 月 15 日(木)

於：リモート PM 0:30～

卓話 田山会長

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか
会報委員会 飛田 幸男 土子 吉久